



関 中 学 校 だ よ り

第5号 平成24年9月28日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

実りある秋に

校長 勝亦章行

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、あの厳しい残暑も終わったようです。しかしながら、例年にない9月の厳しい残暑でした。

今年の夏休みは、夏休みが8月末となったため、昨年度よりも長い44日間でした。生徒一人一人、有意義な夏休みであったと思います。

この夏は、4年に一度の夏季オリンピックがイギリスのロンドンで開催され、アスリートたちの素晴らしい姿に感動を覚えた人も多かったと思います。獲得したメダル数は38個という素晴らしい成績。しかし、メダリストは、38人ではなく、78人でした。つまり、団体種目でメダルをとっているということ。チームとして互いの力を発揮させ「チーム力」で勝ち取ったメダルは、更なる感動を感じます。

日本人の気質として、みんなで頑張るという点に価値を見出す国民性もあるかもしれません。さらに、その後開催されたパラリンピックも、障がい乗り越えて自分の力を出し尽くすアスリートたちに、感動を感じました。メダル数も金5・銀5・銅6の計16個を獲得。

イギリスは、パラリンピック発祥の地であり、オリンピックと同じように盛り上がり、健常者も障がい者も同じであるという精神が強く感じられる大会であったと思います。

さて、季節は残暑も終わり本格的な秋を迎えました。季節的にも何をするにしてもよい季節の到来です。秋と言うと、「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「実りの秋」・・・という言葉があります。ぶどう、梨などのいろいろな果実が。さつまいも、じゃがいもなどの野菜が。こうした農作物が収穫できるのも手塩にかけて育てた農家の方々のご苦労もあります。植物が夏の暑い時季に、光合成をして成長したためでもあります。そうしたことがなければ、「実りの秋」はありません。

関中生も、この長い夏休み期間に勉強に、部活動に頑張った生徒も多くいたと思います。その成果が、実りの秋と同じように、様々な関中学校の生活の場面で発揮されることを期待しています。

これからの時季は、10月24日に合唱コンクール、11月15日にマラソン大会（年度当初の予定では11月16日でしたが、諸般の都合で15日に変更します。ご了解下さい。）があります。また、10月13日には1学期終業式があり、1学期の成績も出されます。半年間の学習面、生活面を振り返るよい機会になるでしょう。



PTAにより「季節の風物詩」も秋バージョン

9月・10月 行事予定

日	曜	予定
3	月	夏休み明け全校集会、防災訓練
7	金	第1回新入生保護者説明会
8	土	土曜授業
17	月	敬老の日（祭日）
19	水	期末考査（社・技 ・保体）
20	木	期末考査（国・理）
21	金	期末考査（英・数）
22	土	秋分の日（祭日）
24	月	生徒朝礼
26	水	校内研修会
27	木	生徒会役員選挙立 会演説会
28	金	投票、開票、心の 相談員来校
10月		
1	月	都民の日（休み）
2	火	学校公開週間始
3	水	職員会議
4	木	連合音楽会
5	金	3年第2回進路説 明会、学校公開週 間終
8	月	体育の日（祭日）
9	火	生徒会朝礼、SC 来校、生徒会各種 委員会、合唱コン クラス練習始、45 分授業
10	水	生徒会中央委員会 45分授業
11	木	45分授業
12	金	2年合唱コンリハ ーサル、第2回英 語検定、心の相談 員来校
13	土	1学期終業式、成 績相談
15	月	2学期始業式、成 績相談、3年合唱 コンリハーサル、 生徒会各種委員会
16	火	45分授業、SC来 校
17	水	45分授業、1年合 唱コンリハーサル 学年会

★1年岩井臨海学校（7月27日～30日）大きな達成感を得て無事終わる。

昨年度は、東日本大震災の関係で臨海学校は中止されました。できる限りの安全対策をして、今年度は、臨海学校が再開されました。練馬区の臨海学校は、千葉県岩井と静岡県下田で行われています。関中学校は、岩井で7月27日～30日に実施。事前に参加希望調査を行い、122人の1年生が参加しました。大変天気がよく、夏の太陽がまぶしく感じる中での臨海学校でした。

遠泳は、小遠泳5人、大遠泳117人が参加。参加した生徒全員が遠泳を行い、大きな達成感を得ることができました。安全対策のため、海岸から宿舎途中までの避難訓練を実施。走りづらい砂浜を駆けて退避するのは、かなり疲れました。臨海学校を無事終えることができました。

生徒たちには、遠泳完泳で得た充実感・達成感を、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。



1年生122人が参加



班ごとに分かれて、いざ梅へ



大遠泳、小遠泳を完泳して記念撮影



スイカ割り

★防災訓練で集団下校訓練を実施（9月3日）

災害発生時の集団下校訓練を9月3日に実施しました。9月3日は、夏休み明けの登校日でしたが、11班の地区別班に分かれて、担当教員と一緒に下校をしました。

★林生徒会長が関町北小学校の朝会で話をしました。（9月24日）



全児童の前で話す、林生徒会長（関町北小学校体育館）



本校の林生徒会長が9月24日（月）関町北小学校に向き、全児童の前で話をしました。関中と関町北小とは距離的にも近く、多くの児童が関中に入学してくる関係です。林生徒会長から「生徒会について」「関中のよいところ」「小学生へのメッセージ」について話をしました。児童も耳を傾け聞いていました。小学生には、「何事も自信をもってやること」の大切さを話しました。

★連合陸上競技大会（9月25日）関中生としてベストを尽くす。

区内公立中学校34校、そして一部の区内私立中学校も参加して、国立競技場で、第50回連合陸上競技会が開催されました。天気予報では、午前中は雨との予報でしたが、何とか一日雨は降らず、曇りの天気でした。我が関中学校は、陸上部を中心に33人が参加。それぞれの種目でベストを尽くしました。入賞した生徒は以下の通りです。

椿（共通男子400m 1位）	磯野（12年女子走高跳 3位）	今井（12年男子砲丸投げ 5位）
木村（共通女子800m 5位）	納富（3年男子110mH 7位）	



男子リレー（100m×4）



男子110mHハードル走



女子1500m走



男子400m走

★1年校歌コンクール（9月26日）

9月26日5校時、1年校歌コンクールが開催されました。本校は、開校が昭和50年4月です。校章、校旗、校歌が決定したのは

校章	昭和51年	2月5日
校旗	昭和51年	3月3日
校歌	昭和51年	10月6日

昭和51年から歌い継がれている関中学校の校歌。教育目標が変わることがあっても、校章、校旗、校歌は変わることはありません。

1年校歌コンクールでは、クラスごとに発表。コンクールといっても順位を決めるものではありません。1年生も入学して半年。関中学校に慣れ、関中生として頑張っています。10月24日には、本校の四大大行事の一つである合唱コンクール（練馬文化センター）があります。合唱コンクールでは、更なるよい歌声を聴かせてほしいと思います。



校歌発表の様子（本校体育館）

★生徒会役員選挙立会演説会（9月27日）



生徒会役員選挙立会演説会が、9月27日、5・6校時に体育館で行われました。

7人の定員に対して、11人が立候補。生徒会長候補者は、2人の決選投票に。副会長候補者は、定員2に対して2人立候補なので、信任投票に。生徒会役員は、定員4人に対して7人が立候補したので決選投票に。例年になく激戦となりました。

各候補者からの演説も、内容あり、情熱あり、素晴らしいものでした。

立候補するだけで勇気がいることです。関中学校をさらに生徒の力で、生徒会の力でよりよいものにしたいという気持ちが伝わってくる立会演説会でした。10月2日には、新生徒会役員会が発足します。

★3年生 練馬区学力調査より（平成24年6月6日実施）

6月6日に実施した練馬区学力調査結果が出されました。5教科の平均正答率は以下の通りです。理科については、全国平均とほぼ同じ。国語、社会、数学、英語については、全国平均を上回る結果でした。

	国語	社会	数学	理科	英語
全国平均正答率	67.5	51.6	61.3	54.8	64.5
関中平均正答率	78.2	59.9	78.8	53.6	79.4

学力調査と同時に意識調査も実施しました。2つの調査結果を示します。

- 1：そう思う 2：どちらかといえばそう思う
3：どちらかといえばそう思わない 4：そう思わない 5：分からない

(1) あなたは、学校が好きですか？

	1	2	3	4	5
関中	46.4	37.5	8.3	4.2	3.6
全国	32.5	36.3	13.3	10.4	6.5

*プラス評価は、83.9%でした。多く3年生が関中学校が好きと答えています。

(2) あなたは、勉強が好きですか？

	1	2	3	4	5
関中	7.8	25.0	35.4	27.6	4.2
全国	4.8	17.4	33.2	36.4	7.0

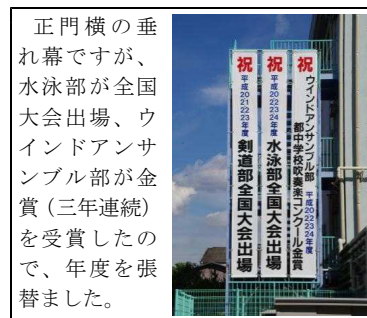
*プラス評価は、32.8%。マイナス評価は、63%でした。全国平均と比べると、勉強が好きと答える3年生が多いです。「勉強は自分自身のためにやらなくてはいけない」と感じている3年生が多いと思います。

★「いじめは、どの学校でも、どの学級でも、どの生徒にも起きる！」

国立教育政策研究所が、いじめ追跡調査を行ったことがあります。信頼できる調査ですが、その結果は、「1回でも中学3年間で、いじめの加害者経験がある生徒」「1回でも中学3年間で、いじめの被害者経験がある生徒」は、ともに調査した学校の生徒の3/4が該当するとの調査結果があります。いじめは特定の生徒だけではなく、「どの学校でも、どの学級でも、どの生徒にも起こりうるもの」なのです。

そういった意味でも、自分に関係ないのではなく、積極的にいじめを排除する姿勢をもたなければなりません。

また、いじめにあったときには、誰かに相談して下さい。(学校の先生でも、外部機関でも) 相談することは、勇気がいるかもしれませんが、正しい行為です。



正門横の垂れ幕ですが、水泳部が全国大会出場、ウインドアンサンブル部が金賞(三年連続)を受賞したので、年度を張替ました。